

図面製本の作成要領

- 1, 製本方法や表紙の仕様(材質や色等)は下記を基に監督員との協議により決定する。
- 2, 日付は和暦で記載する。
- 3, 設計者と工事監理者が同じ場合は、設計・監理を併せて「(設計監理)」とする。
- 4, 設計図の場合は、「竣工図」を「設計図」に読み替える。なお、背表紙の完成日の記載は不要とする。
- 5, 複数社で合冊製本する場合は、工事名と施行者名の順番を合わせること。
- 6, パース(外観、内観共)がある場合は、建築図面の最初のページに挿入すること。
- 7, 計画通知等の指摘により図面の修正・追加等がある場合は、それらを反映した図面で製本すること。また、図面の修正・追加等の内容がわかる一覧表をパースの次ページに挿入し、表紙には「設計図」の下段に「(計画通知等の指摘内容対応後)」と記載する。
- 8, 原則として製本の厚みは竣工図では30mm程度、設計図では40mm程度を上限とし、それ以上となる場合は分冊とする。

[竣工図] ※製品名はすべて参考とし同等品とする。

観音製本

材質：黒表紙(ハードカバー) 文字：太字明朝体(金文字箔押し)

材質：レザック66(ライトグレー, 厚み 0.21mm, つや無しPP加工) 文字：太字明朝体(黒文字)

※監督員から指示がある場合は指定色とする。

[設計図] ※製品名はすべて参考とし同等品とする。

観音製本

材質：レザック66(指定色, 厚み 0.21mm) 文字：太字明朝体(黒文字)

材質：ダイヤボード(指定色, 厚み 0.23mm) 文字：太字明朝体(黒文字)

設計図表紙の指定色 レザック66の場合(案)

作成区分		単独製本	合冊製本(部分合冊を含む)		
工種	A・E・M・O		A・S・O	全て	
A		ミルク	ミルク	ミルク 注1	建設地域や施設のシンボルカラーの近似色 ※特になく場合はミルクとする。
S	E	もも	もも	レモン 注1	
	M	MA	ライトグリーン		
		MP	あおたけ		
O		らくだ	らくだ	らくだ 注1	

※工種は次の通り。A：建築、E：電気設備、MA：空調設備、MP：給排水衛生設備、S：設備、M：機械設備、O：外構

注1, 監督員との協議により、いずれかの工種の表紙を建設地域や施設のシンボルカラーの近似色としてもよい。

単独で製本する場合の例

〇〇庁舎建設工事(建築)

竣 工 図

着工 〇〇 00年 1月 1日

完成 〇〇 00年 12月 31日

(主管課) 白山市〇〇部〇〇課
 (監 修) 白山市建設部営繕課
 (設 計) 〇〇設計株式会社
 (監 理) 〇〇設計株式会社
 (施工者) 〇〇建設株式会社

〇〇庁舎建設工事(建築)

竣工図

完成 〇〇 00年 12月 31日

前

背

複数社で合冊製本する場合の例(1)
(各社の工期が同一)

〇〇庁舎建設工事
(建築)(電気設備)(給排水衛生設備)(空調設備)

竣 工 図

着工 〇〇 00年 1月 1日
完成 〇〇 00年 12月 31日

(主管課)白山市〇〇部〇〇課
(監 修)白山市建設部営繕課
(設 計)〇〇設計株式会社
(監 理)〇〇設計株式会社
(施工者)〇〇建設株式会社
 〇〇電気工事株式会社
 〇〇設備株式会社
 〇〇管工事株式会社

前

〇〇庁舎建設工事
(建築)
(電気設備)
(空調設備)
(給排水衛生設備)

竣工図

完成 〇〇 00年 12月 31日

背

複数社で合冊製本する場合の例(2)
(各社の工期が相違)

〇〇庁舎建設工事
(建築)(電気設備)(給排水衛生設備)(空調設備)

竣 工 図

(主管課)白山市〇〇部〇〇課
(監 修)白山市建設部営繕課
(設 計)〇〇設計株式会社
(監 理)〇〇設計株式会社
(施工者)〇〇建設株式会社
 〇〇電気工事株式会社
 〇〇設備株式会社
 〇〇管工事株式会社

前

〇〇庁舎建設工事
(建築)
(電気設備)
(空調設備)
(給排水衛生設備)

竣工図

完成 〇〇 00年 12月 31日

背

〇〇建設工事

計画通知等の指摘による修正・追加等の項目一覧表 (元号〇年〇月〇日時点)

番号	種別	図番	変更内容
1	建築	A-10,22,23,24	修正 建物最高高さ修正 (9.985m → 9.990m)
2		A-10	修正 案内図差し替え (白地図 → Googleマップ)
3		A-10	追加 住所表示に「ほか5筆」追加
4		A-10,200	追加 敷地内の避難動線追加
5		A-10, 11	修正 敷地面積修正 (1443.99㎡ → 1443.975㎡)
6		A-10	追加 道路中心レベル追加
7		A-10	修正 道路斜線制限チェックの計算修正
8		A-13	修正 1階の階段下倉庫の床面積修正 (6.81㎡ → 6.77㎡)
9		A-13,202	修正 床面積に底下の車路部・駐輪場部を追加 (1階床面積432.00㎡ → 453.53㎡、延床面積864.00㎡ → 885.53㎡)
10		A-13	修正 容積率算定修正 (容積率算定用床面積 854.74㎡ → 718.18㎡、容積率60% → 50.00%)
11		A-13	修正 建築面積の表記修正 (1階(2階)) 床面積 → 27.000×16.000)
12		A-13	修正 建築率計算修正 (33% → 32.82%)
13		A-14	追加 耐火構造の認定番号、CD登載の有無追加
14		A-14	修正 壁種リストに耐火構造壁の仕様及び認定番号追加、GL工法壁は削除
15		A-14	追加 不燃材料に(不燃)の表記を追加
16		A-15	追加 ビロティ部分の仕上げ追加
17		A-15	追加 各部屋の防火区画・排煙・内装制限の適用法令追加
18		A-15	追加 不燃材料の大臣認定番号、CD登載の有無を追加
19		A-15,18,26	修正 室名修正 (多目的WC → BFWC)
20		A-17	追加 南側道路の関係法規を追加
21		A-17,25,200	変更 ビロティ下の点字タイル位置、植栽範囲変更
22		A-18	追加 断面図の切断位置追加
23		A-18,26	追加 屋外階段に点字タイル追加
24		A-18	追加 庇の出寸法追加
25		A-18	追加 娯楽室の廊下側柱の横を「用途なし」のスペースとする
26		A-19,37,202	追加 SD4、AD3に排煙窓追加
27		A-21	修正 大会議室の符号修正 (E → B)、(リストからE削除)
28		A-22	修正 大会議室の壁の仕様修正 (片面石膏ボードt12.5貼り → 石膏ボード t12.5両面貼り)
29		A-22,23,24,200	追加 1階階の段下倉庫・倉庫に114条区画追加
30		A-22,23,24	修正 114条区画の間仕切りをスラブ下まで立上げとする
31		A-25,26	修正 114条区画となる間仕切り壁の壁種符号修正
32		A-25,26	追加 サイン図の設置位置追加

番号	種別	図番	変更内容
33	建築	A-26	修正 階段の点字タイルの設置位置修正 (段鼻から200mm → 300mm)
34		A-37	修正 LSD1の高さ修正 (2000mm → 1600mm)
35		A-38	修正 SLW2の地下材修正 (木枠中質繊維版 → 石膏ボード(不燃))
36		A-101	修正 バリアフリートイレのサインおよび、JIS規格に対応している旨を追加
37		A-102	修正 総合案内サインのバリアフリートイレ表記修正
38		A-103	追加 特記仕様のアナウンス内容追加
39		A-200,201	追加 排煙免除の室の表記追加
40		A-200	修正 歩行距離修正 (ビロティ下の避難経路)
41		A-200	追加 令125条第1項の出口追加
42		A-200,202	修正 ビロティ・駐輪場に面する窓を排煙窓から除外
43		A-202	修正 換気計算修正 (ビロティ下以外を 自然換気 → 機械換気)
44		A-202	修正 採光の制限修正 (2階の室を 1/10 → 1/7)
45		A-202	追加 娯楽室・大会議室をスライディングウォールで区切った際の、各室のALVS計算追加
46		A-202	修正 各室の排煙免除の適用法令修正
47		A-202	修正 消防有無判定計算修正
48	構造	S-16	修正 排煙窓追加箇所の開口修正
49	電気設備	E-05,06,12,15,17,18, 19,20,21,22,25,26,27, 28,30,31,33,34	追加 114条区画間仕切り貫通部区画処理を追記
50		E-35	追加 防火区画貫通処理図追加
51		E-19,20	追加 ビロティに非常灯2台追加、点滅型誘導灯用煙感知器追加 (1階:1台、2階:2台)
52	機械設備	M-02	追加 防火区画貫通要領図追加
53		MA-02,03,05,06,08,09 MP-04,05,08,09,11	追加 延焼ライン、114条区画間仕切り、貫通部区画処理部を図示
54		MA-05,06	追加 114条区画間仕切りに伴い必要なFDの追加
55		MA-06	修正 延焼ラインに係わるベントキャップ (13箇所) をFD付に修正